文化財コーナー
茂原市文化財マップ

No.362
平成29年10月

この春、市生涯学習課から茂原市文化財マップが刊行された。拡げるとA２サイズになる大きな地図だ。表面には茂原市指定の文化財48件と千葉県指定の文化財12件の解説が図版とともに解説されている。裏面は市内地図にこれらの文化財の所在地が示されている。（下部は国指定文化財２件と国登録文化財３件の解説がある）

このように実際に地図上で文化財の分布を見ることができると、様々なことがわかり、その便利さを実感する。「自宅の近くには」、「いつも通るこの道沿いには」、「多く集中しているのは郷土資料館」などと、実にたくさんのことが見えてくる。この地図から市内文化財を巡り、いくつものコースが浮かんでくる。スマホやタブレットで手軽に地図情報にアクセスできる現代にあっても、やはり、この大きな紙の地図の持つ視認性は揺るぎないものだ。

これからの季節、この地図を手にサイクリングやウォーキングに出かけるのにお勧めのコースを考えた。

国登録有形文化財の加藤家主屋・長屋門（山崎）と茂原昇天教会（茂原）は市役所より周囲３㎞程の範囲内にある。途中、朝日の森保育所に保存されている千葉県長生郡役所玄関車寄（市指定）や藻原寺と茂原公園内の碑巡り、市立美術館・郷土資料館を入れても良い。１日でゆっくり見て廻れる。

市内にある国指定の天然記念物を巡るコースもおすすめだ。

鶴枝ヒメハルゼミ発生地は、現在の茨城県笠間市、新潟県糸魚川市とならんで、ヒメハルゼミの北限産地として国指定天然記念物になっている（山の中には入れません）。

ヒメハルゼミは、シイやカシなどの照葉樹林に集団で生息し、一斉に鳴き出す。市では、毎年ヒメハルゼミの生息調査として近隣の鶴枝小学校３年生の児童と共に抜け殻数の調査を継続して行っている。気温、湿度、地表温の統計もあり、貴重な第一級の研究資料となっている。近くには明治期の和洋折衷様式で建てられた千葉眼科記念館（市指定）もある。

この茂原市文化財マップからわかること。それは私たちの街が、なんと豊かな自然と文化に囲まれているかということだ。

市内にはまだ未指定の文化財がたくさん残っている。この地図を充実させ、次代へと継承することが大切だと実感した。

文化財審議会委員　斉藤　望

お問い合わせは、生涯学習課（９階）
☎⑳１５５９、FAX⑳１６０７へ。

文芸コーナー

短　歌

古里は山々連なる盆地なり　耳底に残るはみちのく訛（なま）り　　菊地ミトリ

ポンという音聞きたくて山間の　蓮田へ急ぐ朝露の道　　髙石　久之

新しき車のナンバー亡き父の　誕生日に替え走り出す娘（こ）よ　　山本　明美

川　柳

思い付く席立ち上がりもう忘れ　　横田　清

終活へ無邪気な孫が待ったかけ　　荒木庄二郎

座右の書日野原語録読み耽（ふけ）る　　稲子　勝久

よくもまあ生きたものだと喜寿を越え　　大井　康章

スターマインお金の花が乱れ咲き　　大久保　稔

息災で延びた寿命を追い掛ける　　小野與四法

新弟子へ食べろ増やせとちゃんこ鍋　　高橋由紀子

被災地を撮るドローンの目に涙　　福田　研治

これでもか老眼鏡に虫眼鏡　　塩田　加門

大口をたたき和菓子が酒の友　　山野井和音

●偶数月は「俳句・短歌・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。
●投稿は楷書でお願いします。作品・氏名にふりがなをふってください。
※俳句、短歌、川柳の原稿送付先
〒297-8511　茂原市道表1番地　茂原市役所秘書広報課宛「文芸コーナー」と朱書きしてください。